

泉田の歴史21 八王子神社の保存館

高畑組 山田 孝さん寄稿



八王子神社の末社の秋葉社の横に「保存館」という建物があります。今は神社で使う掃除道具などが入れてあるということです。しかし、なぜ、「保存館」なのでしょう？太平洋戦争後、泉田の人々は遺跡の発掘や古文書の調査をし、泉田の歴史を調べました。こうして発掘で出土した土器や調査で集まった古文書などを保存する建物として、昭和31年4月1日に泉田郷土史跡保存記念館という名前で開館したのが、この「保存館」です。ここに保存されていた土器や古文書は、現在は、刈谷市歴史博物館に収蔵されています。

泉田の歴史22 一里山町の密蔵院

高畑組 山田 孝さん 寄稿

一里山町にある密蔵院は、三河三弘法三番霊場として、多くの人でにぎわう寺です。この寺は、真言宗の寺でしたが、正徳4年（1714）に臨済宗に変わりました。そして、この寺はかつて泉田にあったといわれています。この寺から少し下がったところに東海道の一里塚がありました。この一里塚の場所について、江戸幕府の道中奉行は、京都に向かって左の塚は一つ木村、右の塚は泉田村地内にあると書いています。つまり、密蔵院のあるあたりは、江戸時代の終わりごろまで泉田村だったのです。



泉田の歴史23 伊勢倉

高畑組 山田 孝さん寄稿



現在は住宅が集まっていますが、境川の堤防がしっかり築かれていなかった頃は、衣ヶ浦がこのあたりまで入り込んでいたといわれています。そして、この付近に伊勢神宮に米を積み出す港（土場）があり、その米をおさめる倉があったことから、この地名がついたといわれています。ただし、港や倉の跡は確認されていません。伊勢倉は重原にも組名として残っています。